



TITLE:

<記事>1.概要

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>1.概要. 瀬戸臨海実験所年報 1997, 10: 2-2

ISSUE DATE:

1997-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178945>

RIGHT:

1. 概 要

□平成 8 年度

◎職員の異動として、原田晶夫事務官が転出、辻英祐事務官が着任(平成 9 年 4 月 1 日)、山崎葉子臨時用務員が定年により退職した(平成 9 年 3 月 31 日)。

◎日本学術振興会外国人特別研究員として、Dr. F. H. Pagès (Institut de Ciències del Mar (CSIC), Barcelona, Spain)を受け入れた(平成 9 年 3 月 31 日来所)。

◎水族館の大人の入場料を 50 円値上げし 500 円とした(平成 9 年 4 月 1 日)。

◎教育研究学内特別経費でマルチメディア利用型教材を導入設置した。

2. 臨 海 実 習

□平成 8 年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学の臨海実習が下記の通り実施された(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)。

京都大学理学部生物系臨海実習 I	7.19－7.26	延	88 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	8.28－9.4	延	16 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II*	3.17－3.23	延	70 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III*	3.23－3.28	延	78 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	7.26－8.1	延	21 人・日
京都大学総合人間学部海洋生物学臨海実習	2.25－2.28	延	76 人・日
京都大学大学院人間環境学研究科海洋化学実習	8.19－8.22	延	83 人・日
京都大学理学部瀬戸臨海実験所公開臨海実習	9.26－10.2	延	84 人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習(植物)	4.17－4.20	延	96 人・日
大阪千代田短期大学磯観察実習	5.7－5.9	延	102 人・日
奈良教育大学教育学部野外実習 A-II(臨海実習)	5.13－5.18	延	120 人・日
岐阜大学教育学部臨海実験法及び実習	5.20－5.25	延	90 人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習(動物)	6.17－6.21	延	80 人・日
大阪市立大学理学部生物学臨海実習	7.1－7.7	延	119 人・日
大阪教育大学教育学部理科教育講座臨海実習	7.27－8.1	延	138 人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	8.2－8.7	延	103 人・日
広島女学院大学生生活科学科共生実習	8.7－8.10	延	120 人・日
京都教育大学教育学部生物学臨海実習	8.22－8.28	延	70 人・日
大阪千代田短期大学パフウニの初期発生観察	2.6－2.8	延	36 人・日
広島女学院大学生生活科学科臨海実習	3.19－3.22	延	28 人・日

*前年度末に実施

(計)	京都大学	7 件	延	432 人・日
	公開臨海実習	1 件	延	84 人・日
	他大学	7 件	延	697 人・日
	国立	1 件	延	119 人・日
	公立	1 件	延	119 人・日
	私立	4 件	延	286 人・日